

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和8年7月		工事概要	さく井基数 2井	
契約番号	2026000669			掘削深度 L=230.00m	
施設名	川房地区複合型園芸施設				
工事等名	川房地区複合型園芸施設整備事業 さく井工事				
工事等場所	南相馬市 小高区川房字田中 地内				
総工事費	当初請負		仕様概要	土木工事共通仕様書Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び特記仕様書	
	当初設計			によること。	
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2026000669)

川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事

種 別	金 額 (円)	備 考
掘削費(230m×2孔) ロータリー式		
ボーリング掘削 φ406 粘性土 深度0～100m		
ボーリング掘削 φ406 砂質土 深度0～100m		
ボーリング掘削 φ406 砂礫 深度0～100m		
ボーリング掘削 φ406 軟岩 深度0～100m		
ボーリング掘削 φ406 軟岩 深度101～200m		
ボーリング掘削 φ406 軟岩 深度201～300m		
孔内検層 300mまで		
ケーシング挿入 SGP-MN 250A 定尺5.5m		
砂利充填 洗い砂利 6～9mm		
遮水工 セメンチング遮水 30m		
仕上工 孔内洗浄		
残泥土処理工		
揚水試験		
水質検査		
深井戸水中ポンプ設置		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲：予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

■ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事 位置図



総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	D1 南相馬市 実施設計書 当初 20260000000 0 1 実施単価 71 S（相双1）地区 00-08.07.01(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 土木工事 川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事r2		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 復興係数（共通仮設費） 復興係数（現場管理費）	40 07 砂防・地すべり等 00 冬期割増なし 01 金銭の保証 00 補正なし 00 必要無し 01 月単位 02 補正なし 1. 0 02 補正なし 1. 0		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
さく井工事					Y100G002482
一般調査業務費					Y211U002597
掘削費 (230m×2孔) ロータリー式					Y324Z002601
ボーリング掘削 φ406 粘性土 深度0~100m					Y44BR002602
	20.0	m			
技師 (B)					R1450 00
	0.01	人			
さく井主任 (主任地質調査員の1.2倍)					R9001 00
	0.07	人			
さく井技士 (主任地質調査員)					R9002 00
	0.07	人			
さく井工 (地質調査員)					R9003 00
	0.07	人			
掘削ビット (トリコンビット)					F0001 23 00
	0.016	ヶ			
ボーリングロッド (φ73 長さ3m)					F0002 3 00
	0.07	ヶ			
ベントナイト					F0003 13 00
	40.0	k g			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調泥剤					#0001
ベントナイト費の20%	20.0	%			
機械・ポンプ					#0002
ビット費の7%	7.0	%			
消耗品					#0003
消耗材料費の5%	5.0	%			
ボーリングマシン 30kw級 機械損料					F0004 00
	0.07	日			
発電機 37KVA					F0005 00
	0.07	日			
軽油 ミニローリー (パトロール給油)					T0250 00
	2.77	L			
ボーリング掘削 φ406 砂質土 深度0~100m					Y44BR002602
	20.0	m			
技師 (B)					R1450 00
	0.01	人			
さく井主任 (主任地質調査員の1.2倍)					R9001 00
	0.07	人			
さく井技士 (主任地質調査員)					R9002 00
	0.07	人			
さく井工 (地質調査員)					R9003 00
	0.07	人			
掘削ビット (トリコンビット)					F0001 23 00
	0.017	ヶ			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボーリングロッド (φ73 長さ3m)					F0002 3 00
	0.075	ヶ			
ベントナイト					F0003 13 00
	44.0	k g			
調泥剤					#0001
ベントナイト費の20%	20.0	%			
機械・ポンプ					#0002
ビット費の7%	7.0	%			
消耗品					#0003
消耗材料費の5%	5.0	%			
ボーリングマシン 30kw級 機械損料					F0004 00
	0.07	日			
発電機 37KVA					F0005 00
	0.07	日			
軽油 ミニローリー (パトロール給油)					T0250 00
	2.77	L			
ボーリング掘削 φ406 砂礫 深度0~100m					Y44BR002602
	20.0	m			
技師 (B)					R1450 00
	0.01	人			
さく井主任 (主任地質調査員の1.2倍)					R9001 00
	0.10	人			
さく井技士 (主任地質調査員)					R9002 00
	0.10	人			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
さく井工（地質調査員）	0.10	人			R9003 00
掘削ビット（トリコンビット）	0.023	ヶ			F0001 23 00
ボーリングロッド（φ73 長さ3m）	0.115	ヶ			F0002 3 00
ベントナイト	50.0	k g			F0003 13 00
調泥剤					#0001
ベントナイト費の20%	20.0	%			
機械・ポンプ					#0002
ビット費の7%	7.0	%			
消耗品					#0003
消耗材料費の5%	5.0	%			
ボーリングマシン 30kw級 機械損料	0.10	日			F0004 00
発電機 37KVA	0.10	日			F0005 00
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	3.96	L			T0250 00
ボーリング掘削 φ406 軟岩 深度0~100m	140.0	m			Y44BR002602
技師（B）	0.01	人			R1450 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）	0.09	人			R9001 00
さく井技士（主任地質調査員）	0.09	人			R9002 00
さく井工（地質調査員）	0.09	人			R9003 00
掘削ビット（トリコンビット）	0.022	ヶ			F0001 23 00
ボーリングロッド（φ73 長さ3m）	0.110	ヶ			F0002 3 00
ベントナイト	53.0	k g			F0003 13 00
調泥剤					#0001
ベントナイト費の20%	20.0	%			
機械・ポンプ					#0002
ビット費の7%	7.0	%			
消耗品					#0003
消耗材料費の5%	5.0	%			
ボーリングマシン 30kw級 機械損料	0.09	日			F0004 00
発電機 37KVA	0.09	日			F0005 00
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	3.96	L			T0250 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボーリング掘削 φ406 軟岩 深度101~200m					Y44BR002602
	200.0	m			
技師（B）					R1450 00
	0.01	人			
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）					R9001 00
	0.09	人			
さく井技士（主任地質調査員）					R9002 00
	0.09	人			
さく井工（地質調査員）					R9003 00
	0.09	人			
掘削ビット（トリコンビット）					F0001 23 00
	0.022	ヶ			
ボーリングロッド（φ73 長さ3m）					F0002 3 00
	0.110	ヶ			
ベントナイト					F0003 13 00
	53.0	k g			
調泥剤 ベントナイト費の20%					#0001
	20.0	%			
機械・ポンプ ビット費の7%					#0002
	7.0	%			
消耗品 消耗材料費の5%					#0003
	5.0	%			
ボーリングマシン 30kw級 機械損料					F0004 00
	0.09	日			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発電機 37KVA	0.09	日			F0005 00
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	3.56	L			T0250 00
ボーリング掘削 φ406 軟岩 深度201~300m	60.0	m			Y44BR002602
技師 (B)	0.01	人			R1450 00
さく井主任 (主任地質調査員の1.2倍)	0.10	人			R9001 00
さく井技士 (主任地質調査員)	0.10	人			R9002 00
さく井工 (地質調査員)	0.10	人			R9003 00
掘削ビット (トリコンビット)	0.022	ヶ			F0001 23 00
ボーリングロッド (φ73 長さ3m)	0.110	ヶ			F0002 3 00
ベントナイト	53.0	k g			F0003 13 00
調泥剤	20.0	%			#0001
ベントナイト費の20%					
機械・ポンプ	7.0	%			#0002
ビット費の7%					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消耗品					#0003
消耗材料費の5%	5.0	%			
ボーリングマシン 30kw級 機械損料					F0004 00
	0.10	日			
発電機 37KVA					F0005 00
	0.10	日			
軽油 ミニローリー (パトロール給油)					T0250 00
	3.96	L			
孔内検層 300mまで					Y45SI008174
	2.0	孔			
技師 (A) (外業) [55%]					R1440 4 00
	1.0	人			
技師 (B)					R1450 4 00
	1.0	人			
さく井主任 (主任地質調査員の1.2倍)					R9001 4 00
	1.0	人			
さく井技士 (主任地質調査員)					R9002 4 00
	1.0	人			
さく井工 (地質調査員)					R9003 4 00
	1.0	人			
諸雑費					#0004
	5.0	%			
ケーシング挿入 SGP-MN 250A 定尺5.5m					Y44BS002603
	2.0	孔			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B）					R1450 00
溶接挿入準備	1.0	人			
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）					R9001 00
溶接挿入準備	2.0	人			
さく井技士（主任地質調査員）					R9002 00
溶接挿入準備	2.0	人			
さく井工（地質調査員）					R9003 00
溶接挿入準備	2.0	人			
溶接工					R0250 00
溶接挿入準備	2.0	人			
技師（B）					R1450 00
ケーシング挿入	2.0	人			
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）					R9001 00
ケーシング挿入	2.0	人			
さく井技士（主任地質調査員）					R9002 00
ケーシング挿入	2.0	人			
さく井工（地質調査員）					R9003 00
ケーシング挿入	2.0	人			
溶接工					R0250 00
ケーシング挿入	2.0	人			
黒ねじ無し管 SGP-MN 250A 定尺5.5m					F0006 5 00
	30.0	本			
リングベーススクリーン 低炭素鋼垂鉛メッキ250A					F0007 5 00
	66.0	m			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気溶接棒 250A 0.08kg/m×230m	18.4	k g			F0008 00
消耗材料費	4.0	%			#0005
ケーシング材料費の1%×(2日+2日)					
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	158.40	L			T0250 00
発電機 37KVA	4.0	日			F0005 00
砂利充填 洗い砂利 6~9mm	2.0	箇所			Y44BT002604
深度GL30~230m					
技師 (B)	1.48	人			R1450 00
さく井主任 (主任地質調査員の1.2倍)	1.48	人			R9001 00
さく井技士 (主任地質調査員)	1.48	人			R9002 00
さく井工 (地質調査員)	1.48	人			R9003 00
洗い砂利 6~9mm	17.8	m 3			F0009 6 00
消耗品	1.0	%			#0006
遮水工 セメンチング遮水 30m	2.0	箇所			Y442P008175

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B）					R1450 00
	1.0	人			
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）					R9001 00
	1.0	人			
さく井技士（主任地質調査員）					R9002 00
	1.0	人			
さく井工（地質調査員）					R9003 00
	1.0	人			
セメント 25kg					F0010 7 00
	126.0	袋			
塩ビ管 VPφ40 定尺4m					F0011 7 00
	8.0	本			
その他消耗品					#0007
	5.0	%			
仕上工 孔内洗浄					Y442P008175
	2.0	箇所			
技師（B）					R1450 8 00
	3.5	人			
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）					R9001 8 00
	7.0	人			
さく井技士（主任地質調査員）					R9002 8 00
	7.0	人			
さく井工（地質調査員）					R9003 8 00
	7.0	人			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消耗材料費					#0008
人件費の5%	5.0	%			
井戸枠 1200×900					F0012 00
	1.0	個			
井戸蓋（縞鋼板）					F0013 00
	1.0	枚			
軽油 ミニローリー（パトロール給油）					T0250 00
	277.20	L			
発電機 37KVA					F0005 00
	7.0	日			
残泥土処理工					Y45SI008174
	2.0	箇所			
残泥土処理					F0014 00
	184.9	m 3			
残泥土収集運搬					F0015 00
大型バキューム車搬出（10t車）	19.0	回			
揚水試験					Y45SI008174
	2.0	箇所			
主任技師 （外業） [55%]					R1430 9 00
	1.0	人			
技師（A） （外業） [55%]					R1440 9 00
	1.0	人			
技師（B）					R1450 9 00
	3.0	人			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）	10.0	人			R9001 9 00
さく井技士（主任地質調査員）	10.0	人			R9002 9 00
さく井工（地質調査員）	10.0	人			R9003 9 00
消耗材料費	1.0	%			#0009
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	356.40	L			T0250 00
発電機 37KVA	9.0	日			F0005 00
試験用水中モーターポンプ	9.0	日			F0016 00
水質検査	2.0	検体			Y45SI008174
水道法39項目	1.0	検体			F0036 00
食品営業全項目検査26項目	1.0	検体			F0037 00
放射性物質濃度測定（水）	1.0	検体			F0038 00
深井戸水中ポンプ設置	2.0	箇所			Y45SI008174

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
さく井主任（主任地質調査員の1.2倍）	1.5	人			R9001 1 00
さく井技士（主任地質調査員）	1.5	人			R9002 1 00
さく井工（地質調査員）	1.5	人			R9003 1 00
電工	1.5	人			R9004 1 00
消耗品費	2.0	%			#0001
ラフテレーンクレーン 4.9t	1.5	台			F0017 00
深井戸水中ポンプ US2-805-18C同等品以上	1.0	台			F0018 00
制御盤 ECAD3-18.5-01-S同等品以上 屋外自立ポール型	1.0	台			F0019 00
井戸ふたユニット SDT2-80同等品以上 FC製	1.0	台			F0020 00
バルブセット V2-80-10KL同等品以上 FC製スルース弁 チェック弁及び付属品	1.0	式			F0021 00
揚水管 80×310 SGP管フランジタイプ	1.0	本			F0022 00
揚水管 80×5510 SGP管フランジタイプ	30.0	本			F0023 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0016

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水中電極 200m グレー	1.0	本			F0024 00
水中電極 200m クロ	1.0	本			F0025 00
連成計 100~2.5M	1.0	台			F0026 00
直接工事費					
運搬費		式			Z0004
機械器具運搬費	1.0	式			Y2Y00007333
機械器具運搬費 (10t) 10t車損料 2.9t吊	8.0	日			F0039 00
機械器具損料 (8t) 8t車損料 2.9t吊	4.0	日			F0040 00
機械器具運搬 (6~6.5t) 6~6.5t車損料 2.9t吊	8.0	日			F0041 00
機械器具運搬 (4~4.5t) 4~4.5t車損料 2.9t吊	4.0	日			F0042 00
準備費		式			Z0003
機械組立解体	2.0	ヶ所			F0043 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0017

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全費						Z0008
			式			
安全衛生費						F0044 00
		1.0	式			
共通仮設費（率）						Z0009
			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
			式			
工事原価						
一般管理費						
			式			
工事価格						
工事価格（まるめ）						
消費税等相当額						
			式			
工事費計						

川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事 特記仕様書

1. 工事概要

本工事は、川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事を実施するものであり、農産物の品質保持のための苗を生産する「育苗施設」及び農産物に高い価値を付けられる「農産物加工施設」からなる「複合型園芸施設」に給水の安定供給を行うため、新規に取水井を掘削するものであり、実施にあたり、各安全規則、法規を遵守するものとする。

2. 工事内容

契約番号：2026000669

工 事 名：川房地区複合型園芸施設整備事業さく井工事

工事期間：本契約日から起算して3日を経過した日（土日祝日を除く）から令和9年6月30日まで

工事場所：南相馬市小高区川房字田中地内

- ・さく井基数 2井
- ・工法 ロータリー工法
- ・掘削径 $\phi 406\text{ mm}$
- ・スクリーン口径 $\phi 250\text{ mm}$
- ・掘削深度 230.0m
- ・計画揚水量 $350\text{ m}^3/\text{日}$
- ・ケーシング $\phi 250\text{ mm} \times L=165.00\text{ m}$ (30.0本) (SGP-MN)
- ・スクリーン $\phi 250\text{ mm} \times L=66.00\text{ m}$ (12.0本)

※掘削深度は、地層その他の理由により増減することがある。

3. 一般事項

本仕様書等に対して疑義が生じた場合は、共通仕様書 土木工事編（福島県土木部 令和7年1月20日改正）に準じて施工するものとする。なお、細部にわたり記載なき事項といえども工事施工上、あるいは技術的に常識をもって当然必要と考えられるものは監督員の指示に従い、請負業者の負担にて施工するものとする。

本工事に必要になる機械用動力源、仮設及び料金等、諸官公署に対する諸手続き及びその費用一切は、請負業者の負担においてなすものとする。

さく井位置は監督員立会いのうえ芯出しを行い、指定のさく井機を使用し、垂直に掘削すること。掘削中は井壁の崩壊を防ぐため、掘削孔中に粘土（ベントナイト）等の溶液を注入循環し、崩壊を十分防止しなければならない。

また、掘削中は井芯測定器等を使用し偏芯を防止し、もし偏芯が認められた場合は直ちに監督員に報告し、井芯の矯正を図らなければならない。

掘削終了後は、監督員立会いのうえ深度を確認すること。

4. 電気検層

掘削完了後、速やかに監督員立会いのうえ電気検層を行い、スクリーン設置の基礎資料とする。

5. ケーシング管

ケーシング管は、黒ネジ無し管（SGP-MN）250Aとし、継手は漏水のないよう電気溶接すること。なお、品質管理については、カラーチェック等による確認を行い、その結果を報告書に添付すること。

6. スクリーン

スクリーンは、ケーシング管と同径とし、スロット幅 1.5 とした場合の総延長は 66.0m を基準とし、連続または分割して、電気検層結果に基づき、監督員の指示に従い設置するものとする。

なお、スクリーンの型状は集水能力、強度等を十分考慮して決定することとする。また、形状は巻線型（Vスロットル型）リングベーススクリーン及び同等品以上の材料とする。

7. 砂利充填・遮水工

ケーシング管及びスクリーン設置後、速やかにケーシング管と裸孔の隙間に精選されたφ 6～9mmの硬質洗砂利（均一で丸い）を小量ずつスクリーン管最深部より所定の所まで充填し、その上部は表流、泥水等の井内流入を防止するよう遮水施工する。

また、掘削孔上部について、セメンチングによる遮水を確実に実施すること。

※数量については、帯水層の位置により増減することがある。

8. さく井洗浄

砂利充填後、泥水ポンプにて井内の泥水を完全に除去し、スワビング等を十分行い揚水試験に備えるものとする。

9. 揚水試験

掘削井洗浄後、揚水ポンプを設置して、最大揚水量を求めるために予備揚水試験を行い、引続き段階揚水試験を行うものとする。この時に自然水位、揚水水位、揚水量ごとの水位を記録し、井戸の能力や適正揚水量を求めるほか、定量連続揚水試験を行い、その結果により、当該井戸の水理解析を行うものとする。

10. 汚泥（泥水）処理

井戸掘削及び仕上げ作業で排出する掘削汚泥については、適正処理を厳守し、施工計画にその形態にあった運搬方法・運搬距離・搬出経路並びに処分地を記載することとする。また、最終的にはマニフェスト伝票、処分状況の判る写真を添付し汚泥（産業廃棄物）が適正に処理されていることが明確にわかるように、完成図書に添えるものとする。

・掘削時による泥水処理

- ・ケーシング、遮水時の泥水処理
- ・仕上げ時の泥水処理（初期揚水時含む）

11. 水質検査

監督員の指示により井水採水し、保健所またはこれに準ずる公的機関に水質検査を依頼し、その結果を提出する。なお、結果により再検査をする場合がある。

水道検査項目は次による。

- ・水質分析項目……水質基準に関する省令（51 項目）令和 2 年 3 月 25 日厚生労働省令 38 号
- ・水道水は、水道法第 4 条の規定に基づき「水道基準に関する省令」で規定する消毒副生成物 11 項目を除いた 40 項目に適合することが必要である。また、クリプトスポリジウムの検査も行う場合がある。

12. 完成図書

- ・「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」（福島県土木部）に基づき実施するものとし、提出書類については、可能な範囲で電子媒体により納品を行うものとする。

①報告書

- ・報告書に添付する書類
 - ・総合柱状図（井戸構造図、地質柱状図、検層図）及び検層測定記録
ケーシング下端深度、ケーシング継ぎ手深度、スクリーンの上端・下端深度、充填砂利深度と砂利種、遮水深度と遮水材質
 - ・施工地点位置図、座標（世界測地系による）
 - ・水質分析結果
 - ・揚水試験測定記録及び解析結果
測定項目：自然水位、揚水水位、揚水量、水温、電気伝導度、揚砂量
解析項目：限界揚水量、適正揚水量、透水係数、貯留係数などの水理定数を求めるとともに、水位の安定性（長期予測）と既存井への干渉を把握する。
- ・工事写真
工事開始から終了までの工程ごとに工事の流れと使用機材の規格が判るような写真を撮影する。
- ・ケーシング材ミルシート
- ・スクリーン構造図
- ・地質サンプル
地質の変化のある深度または一定間隔で地質サンプルを採取し、プラスチック製サンプルビンに詰めて、採取深度、地質名をビン表面に記載する。
- ・揚水設備図面、ポンプ設置状況図、ポンプ試験成績表、ポンプ選定計算書

※その他監督員の指示によるもの

13. 仮設（準備）工事

次のような仮設（準備）工事等は、請負業者の責任において行うこと。

- ① 資材搬入、搬出路の確保
- ② 工事施工箇所周辺の試掘、整地（軽微な伐開、伐木、除根及び除去を含む）
- ③ 土砂流出防止用の仮設防護
- ④ 仮設用電気、給水、排水
- ⑤ 施工中及び完了後の安全対策

14. その他

- ・施工現場周囲は、常に整理整頓し、危険防止に努めること。
- ・地層断面図等は常に持参し、地層の変化等の記録は直ちに記載すること。
- ・工事中は、常に監督員と十分に連絡をとり、その指示に従うこと。
- ・さく井箇所芯出し及び基準高の測定を行うこと。
- ・この契約に定めのない事項及びこの契約について疑義を生じたときは、監督員と請負業者とが協議するものとする。

15. 週休2日確保モデル工事等

本工事は、「南相馬市発注工事における「週休2日確保モデル工事」試行要領」に定める工事のうち、☒としている箇所の対象工事である。

☒「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐完全週休2日

なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」において、受注者が「完全週休2日」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

16. 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

（1）大雨・洪水等の警報発令時

「南相馬市」の気象警報を対象とする。

（2）震度5弱以上の地震時

「南相馬市」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班（巡視員）を出動させて巡回

点検(パトロール)を実施する。

- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

17. 再生資源利用計画書

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

18. 再生資源利用促進計画書

- 1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

- 2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

- 3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書

の写しを完成図書に添付しなければならない。

- 4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

(別紙様式)

南相馬市 農林水産部 農政課 (FAX:0244-44-6809)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

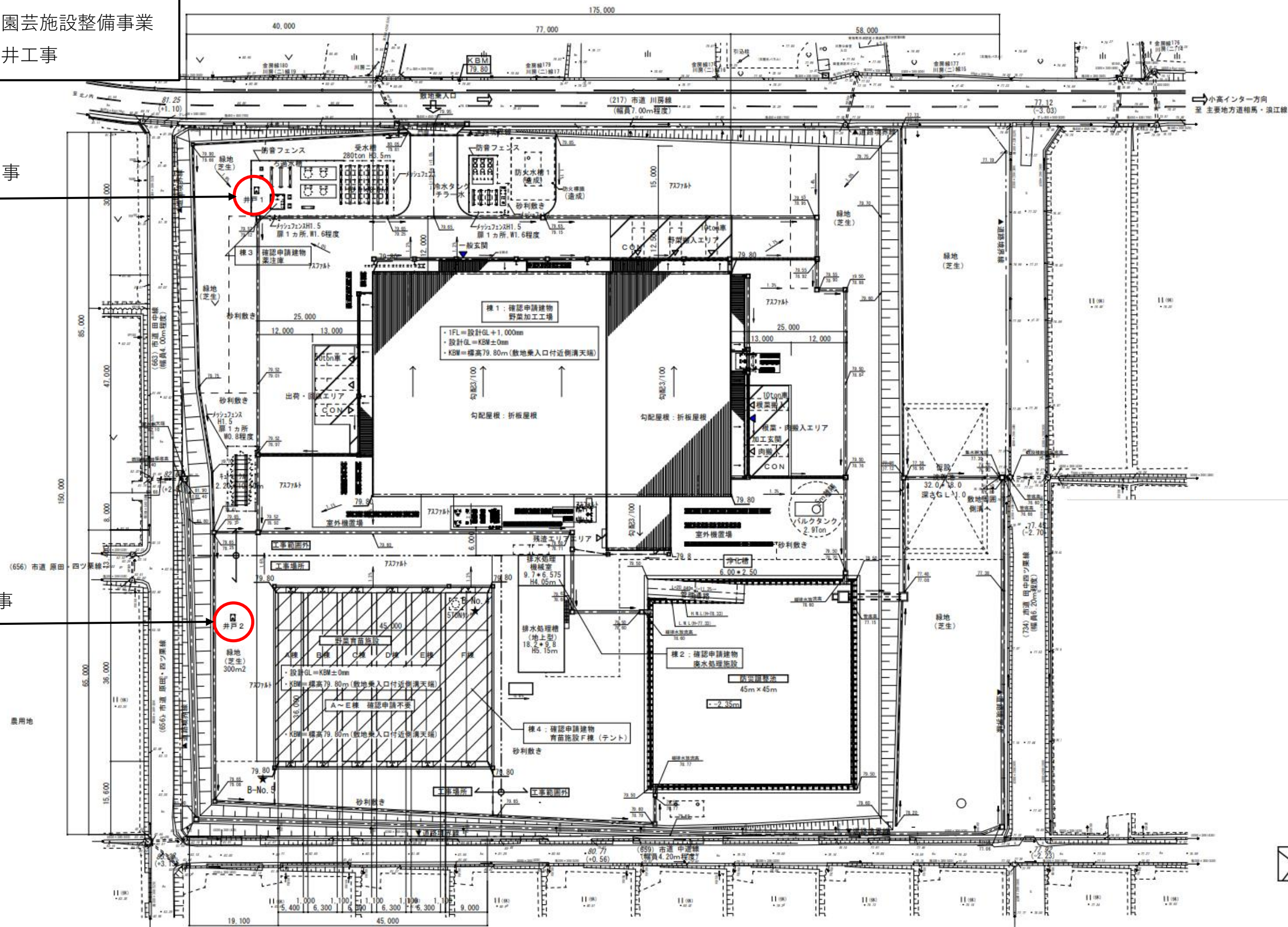
異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	川房地区複合型園芸施設整備事業 さく井工事	
場 所	南相馬市小高区川房字田中地内	
請負業者	(株) ○○○○○	
現場代理人	○○○○	
点検日時	開 始	令和○○年○○月○○日○○時○○分
(24時間表示)	終 了	令和○○年○○月○○日○○時○○分
点検項目	異常の有無	
○現場内の状況		
・法面の崩壊	無し	
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)	
・法面からの湧水	無し	
・路面の陥没	無し	
・仮設の設置状況	無し	
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し	
○現場周辺の状況		
・法面の状況	無し	
・路面の状況	無し	
・流末排水の状況	無し	
・土石流危険溪流の状況	無し	
・砂防指定地の状況	無し	
・その他異常の有無	無し	
処置内容		
・ N o . 0 ～ N o . 1 0 左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。		

川房地区複合型園芸施設整備事業
さく井工事

さく井工事

さく井工事



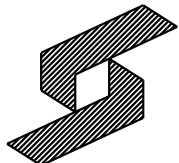
川房地区複合型園芸施設整備事業 井戸工事

実施設計図

発注者：南 相 馬 市
設計者：(株)盛総合設計

I N D E X

図面番号	図面名称 (M)	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)
M- 0	機械設備 図面リスト	NONSCALE	M-3 6	排煙設備 機器表・排煙口リスト・系統図	NONSCALE	M-7 2	井戸工事 井水・ろ過装置廻り詳細図(2)	1/50
M- 1	機械設備関係工事特記仕様書 (共通)	NONSCALE	M-3 7	排煙設備 ダクト平面図	1/150	M-7 3	井戸工事 サンドセパレータ仕様図	1/10
M- 2	機械設備特記仕様書(1)	NONSCALE	M-3 8	自動制御設備 中央監視システム構成図	NONSCALE	M-7 4	ろ過装置設備仕様図(1)	NONSCALE
M- 3	機械設備特記仕様書(2)	NONSCALE	M-3 9	自動制御設備 機能仕様	NONSCALE	M-7 5	ろ過装置設備仕様図(2)	NONSCALE
M- 4	機械設備特記仕様書(3)	NONSCALE	M-4 0	自動制御設備 中央監視点一覧表・警表・機器表	NONSCALE	M-7 6	ろ過装置設備仕様図(3)	NONSCALE
M- 5	機械設備工事試験内容一覧表	NONSCALE	M-4 1	自動制御設備 計装図	NONSCALE	M-7 7	ろ過装置設備仕様図(4)	NONSCALE
M- 6	特記工事区分表	NONSCALE	M-4 2	自動制御設備 低溫外調機・残渣槽廻り配線図	1/150	M-7 8	ろ過装置設備仕様図(5)	NONSCALE
M- 7	機械設備 凡例表(1)	NONSCALE	M-4 3	自動制御設備 空調機制御配線図	1/150	M-7 9	空気配管設備 機器表・系統図・V/L/V設置詳細図	1/50
M- 8	機械設備 凡例表(2)・メーカーリスト	NONSCALE	M-4 4	自動制御設備 外調機 給湯・ガス設備制御配線図	1/100	M-8 0	空気配管設備 圧縮空気・産業配管平面図	1/150
M- 9	機械設備 案内図・配置図	1/400	M-4 5	自動制御設備 空調機集中管理システム配線図	1/150	M-8 1	観測井戸工事 構造図・ラック	1/200
M-1 0	空調設備 機器表(1)	NONSCALE	M-4 6	自動制御設備 井水・ろ過装置廻り配線図	1/30	M-8 2	浄化槽設備 平面・断面図	1/40
M-1 1	空調設備 機器表(2)	NONSCALE	M-4 7	衛生設備 器具表	NONSCALE	M-8 3	浄化槽設備 配管・電気図	1/40
M-1 2	空調設備 機器表(3)	NONSCALE	M-4 8	給排水設備 機器表	NONSCALE	M-8 4	浄化槽設備 動力制御盤図	NONSCALE
M-1 3	空調設備 機器表(4)	NONSCALE	M-4 9	給排水設備 系統図(1)	NONSCALE	M-8 5	排水処理設備 特記仕様書	NONSCALE
M-1 4	空調設備 機器表(5)	NONSCALE	M-5 0	給排水設備 系統図(2)	NONSCALE	M-8 6	排水処理設備 フローシート	NONSCALE
M-1 5	空調設備 機器表(6)	NONSCALE	M-5 1	給排水設備 区分表 配管要領図	1/30	M-8 7	排水処理設備 平面図(1)	1/50
M-1 6	空調設備 系統図(1)	NONSCALE	M-5 2	給水設備 配管図	1/400	M-8 8	排水処理設備 平面図(2)	1/50
M-1 7	空調設備 系統図(2)	NONSCALE	M-5 3	給水設備 屋外配管平面図	1/150	M-8 9	排水処理設備 断面図(1)	1/50
M-1 8	空調設備 空調機冷媒配管平面図	1/150	M-5 4	給水設備 井水配管平面図(1)	1/100	M-9 0	排水処理設備 断面図(2)	1/60
M-1 9	空調設備 外調機冷媒配管平面図	1/150	M-5 5	給水設備 井水配管平面図(2)	1/100	M-9 1	排水処理設備 電気図	1/60
M-2 0	空調設備 除湿機・送風機平面図	1/150	M-5 6	給水設備 冷水・電解水配管平面図(1)	1/100	M-9 2	排水処理設備 動力制御盤図	NONSCALE
M-2 1	空調設備 ドレン配管平面図(1)	1/150	M-5 7	給水設備 冷水・電解水配管平面図(2)	1/100	M-9 3	機械設備 雑詳細図(1)	図示
M-2 2	空調設備 ドレン配管平面図(2)	1/150	M-5 8	給水設備 電解水機械室詳細図	1/30	M-9 4	機械設備 雑詳細図(2)	1/50
M-2 3	空調設備 ドレン配管平面図(3)	1/150	M-5 9	排水設備 残リスト	NONSCALE	M-9 5	機械設備 雑詳細図(3)	図示
M-2 4	空調設備 低溫外調機詳細図	1/50	M-6 0	排水設備 配置図	1/400	M-9 6	(参考図)断面図(1)	1/150
M-2 5	(参考図)加工機械・冷媒・冷水設備 詳細図	1/50	M-6 1	排水設備 屋外配管平面図	1/150	M-9 7	(参考図)断面図(2)	1/150
M-2 6	空調設備 蒸気配管 系統図	NONSCALE	M-6 2	排水設備 平面図(1)	1/100	M-9 8	残渣加工機械リスト	NONSCALE
M-2 7	空調設備 蒸気配管平面図(1)	1/100	M-6 3	排水設備 平面図(2)	1/100	M-9 9	残渣加工機械キープラシ	1/150
M-2 8	空調設備 蒸気配管平面図(2)	1/100	M-6 4	給排水設備 便所廻り詳細図	1/50	M-100	H01 残渣処理機械図	1/25
M-2 9	空調設備 蒸気配管ボイラー室廻り詳細図	1/30	M-6 5	給排水設備 残渣処理室・ボイラー室廻り詳細図	1/30	M-101	H02A ウルトラエナスクリーン詳細図 H02B オートクワリーフユニット詳細図	1/10 1/15
M-3 0	換気設備 機器表(1)	NONSCALE	M-6 6	給湯・ガス設備 平面図	1/100	M-102	H03 工場内Δコンベヤ詳細図	1/40
M-3 1	換気設備 機器表(2)	NONSCALE	M-6 7	ガス設備 機器表・バルクタンク廻り詳細図	1/20	M-103	H03A、H03C 投入ホッパー部・フェンスカバー部 階段・作業台・専用乗台部 詳細図	1/5 1/10 1/20 1/50
M-3 2	換気設備 前室口リスト	NONSCALE	M-6 8	消火設備 系統図・ポンプ室詳細図	1/30		H04 ガストホッパー詳細図	
M-3 3	換気設備 系統図(1)	NONSCALE	M-6 9	消火設備 平面図	1/150			
M-3 4	換気設備 系統図(2)	NONSCALE	M-7 0	井戸工事 構造図	NONSCALE			
M-3 5	換気設備 ダクト平面図	1/150	M-7 1	井戸工事 井水・ろ過装置廻り詳細図(1)	1/50			



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図
番

工
事
名

川房地区複合型園芸施設整備事業 井戸工事

図
番

M-00

図
面
名

機械設備 図面リスト

連
番

管
理
者

一般建築士登録
第101316号 栗原 憲 昭

設
計
者

一般建築士登録
第289308号 伏見 勇 男

縮
尺

A1N/S

現場環境改善（快適トイレの設置）	17・1 内容	① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。 【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】 (1)洋式(洋風)便座 (2)水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) (3)臭い逆流防止機能 (4)容易に開かない施錠機能 (5)照明設備 (6)衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする) 【付属品として備えるもの(全項目必須)】 (7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8)周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 (9)サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10)鏡と手洗器 (11)便座除菌クリーナー等の衛生用品 【推奨する仕様、付属品(任意)】 (12)室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m2以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (13)擬音装置(機能を含む) (14)着替え台 (15)臭気対策機能の多重化 (16)室内温度の調整が可能な設備 (17)小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等) ② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。 ③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。 2 設置に要する費用 快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。 ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。	20	(1) 工期・工程等	熱中症対策	・ 猛暑による作業不能日数	本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。	i) 作業不能日数：●日間	ii) 上記i)は、環境省が公表する東北地方●●※1(福島)地点におけるWBGT値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和●年～●年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。	iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●(福島)地点におけるWBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。)がi)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。	※1 下表の観測地点を記入(参考)	<table><tr><th>建設事務所管内</th><th>観測地点</th></tr><tr><td>県北</td><td>茂庭、梁川、福島、鷲倉、二本松</td></tr><tr><td>県中</td><td>船引、郡山、湯本、小野新町、石川</td></tr><tr><td>県南</td><td>白河、東白川</td></tr><tr><td>会津若松</td><td>金山、若松</td></tr><tr><td>喜多方</td><td>松原、喜多方、西会津、猪苗代</td></tr><tr><td>南会津</td><td>只見、南郷、田島、松枝岐</td></tr><tr><td>相双</td><td>相馬、飯館、浪江、川内、広野</td></tr><tr><td>いわき</td><td>山田、小名浜</td></tr></table>	建設事務所管内	観測地点	県北	茂庭、梁川、福島、鷲倉、二本松	県中	船引、郡山、湯本、小野新町、石川	県南	白河、東白川	会津若松	金山、若松	喜多方	松原、喜多方、西会津、猪苗代	南会津	只見、南郷、田島、松枝岐	相双	相馬、飯館、浪江、川内、広野	いわき	山田、小名浜
	建設事務所管内	観測地点																												
	県北	茂庭、梁川、福島、鷲倉、二本松																												
県中	船引、郡山、湯本、小野新町、石川																													
県南	白河、東白川																													
会津若松	金山、若松																													
喜多方	松原、喜多方、西会津、猪苗代																													
南会津	只見、南郷、田島、松枝岐																													
相双	相馬、飯館、浪江、川内、広野																													
いわき	山田、小名浜																													
18	再生資源利用計画	① 再生資源利用計画書 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 ② 再生資源利用促進計画書 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。																												
19	1 内容	※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について 総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。 なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。 確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2. 様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。 また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。																												
株式会社 盛総合設計		代表取締役社長 栗原 将光 宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011 TEL(代表) 022-222-6887 FAX022-224-2397 事務所登録 宮城県 第23210188号	訂正				発行 2025.10	認	工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業 井戸工事	図番 M-04																				
									図面名 機械設備工事特記仕様書(3)	通番																				
									管理番号 第101316号	栗原 憲昭	設計者 第289308号	伏見 勇男	縮尺 A1:NONSCALE																	

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考									
		配 管 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後													
・ 1	給水装置に該当する管	○	○	○	○	水圧試験	1.75MP a 以上	60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。									
・ 2	揚水管等のポンプに直結する配管	○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 3	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 4	給 湯 管	○	○	○	○	水圧試験	上記1、2、3に準ずる。	60分										
・ 5	さや管ヘッダー配管	○	○		○	水圧試験	<table><tr><td>管 種</td><td>初 圧</td><td>60分後</td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>0.75MP a</td><td>0.45MP a 以上</td></tr><tr><td>ポリブテン管</td><td>0.75MP a</td><td>0.55MP a 以上</td></tr></table>	管 種	初 圧	60分後	架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上	ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上	60分	60分後に規定の圧力以下の場合は再試験を行う。 再試験は、共通仕様書による。
							管 種	初 圧	60分後									
架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上																
ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上																
〔注〕継手部分の漏水の有無を目視確認する。																		
・ 6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	満水試験		30分	原則、埋戻し前又は最小限の埋戻しで行う。									
						煙 試 験	刺激性の濃煙 250 P a	15分										
	排水管(屋外埋設管)			○		満水試験		30分										
・ 7	排水ポンプ吐出管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍	60分										
・ 9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の1.5倍又は1.75MP aのいずれか大なる圧力 (7と兼用兼用される配管は7又は8のいずれか大なる圧力)	60分	連結送水管送水口等									
・ 10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは10.8MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分										
・ 11	粉 末 消 火 配 管				○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは2.5MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分										
・ 12	冷温水管、冷却水配管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分										
・ 13	蒸気配管、高温水管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍 (ただし、最小0.2MP a)	30分										
・ 14	油 管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍	30分										
・ 15	冷 媒 配 管		○		○	気密試験 (空気又は不燃性ガス)	<table><tr><td>冷媒ガスの種類</td><td>気密試験圧力</td></tr><tr><td>R 2 2</td><td rowspan="4">工事監理指針による</td></tr><tr><td>R 1 3 4 a</td></tr><tr><td>R 4 0 7 C</td></tr><tr><td>R 4 1 0 A</td></tr></table>	冷媒ガスの種類	気密試験圧力	R 2 2	工事監理指針による	R 1 3 4 a	R 4 0 7 C	R 4 1 0 A	10分	外部に発泡液を塗布して漏れない事。 その後24時間放置して漏れない事。		
							冷媒ガスの種類	気密試験圧力										
R 2 2	工事監理指針による																	
R 1 3 4 a																		
R 4 0 7 C																		
R 4 1 0 A																		
〔注〕(1) 試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気とする。 (2) 試験終了後、ガスをバージし、真空乾燥を行う。絶対圧力が0.1MP a以下になってからさらに15分以上真空引きし、密閉放置して漏れないことを確かめる。 (3) 配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス検知器を使用して配管の接続部を点検し、冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4) 屋内機と屋外機の連絡配線は、施工後、絶縁抵抗試験、動作試験を行う。																		
・ 16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MP a (ただし、温水コンセント接続後は0.1MP a) 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分										
○ 17	通 水 試 験				○	通水試験	・ 給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動させ、吐出水が清澄となるまで行う。 また、飲料水配管の場合は、末端において、遊離残留塩素濃度が0.2ppm 検出されるまで消毒を行う。 ・ 排水設備～衛生器具等取付後、行う。 ～空調用ドレン管にも適用する。 ・ 通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ・ 給湯設備～給水設備に準ずる。											
○ 18	水 質 試 験				○	簡易試験 (9項目)	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度		福島県給水施設等条例並びに(各)市町村給水施設等条例									
・ 19	揚水用ポンプ、小型給水ポンプユニット、給湯用循環ポンプ水道用直結加圧形ポンプユニット				据 付 完了後	水圧試験	JIS B8301「遠心ポンプ、斜流ポンプ及び軸流ポンプー試験方法」による	1分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。									
・ 20	塩 素 滅 菌 装 置				据 付 完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上行い、異常の有無を検査する。											
・ 21	水 槽 類				○	満水試験	満水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査する。 飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等により消毒を行う。	12時間										

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後				
・ 22	鋼 製 ボ イ ラ ー				据 付 完了後	水圧試験	・ 最高使用圧力が0.42MP a以下のものは、最高使用圧力の2倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ 最高使用圧力が0.42MP aを超え1.5MP a以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MP aを加えた圧力 ・ 最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MP aを加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 23	鑄鉄製ボイラー				据 付 完了後	水圧試験	・ 蒸気ボイラーは、0.2MP a ・ 温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ セクションは、最高使用圧力が0.2MP a以下のボイラーは0.4MP a、最高使用圧力が0.2MP aを超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		
・ 24	真空式温水発生機				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 25	無圧式温水発生機				○	満水試験		30分	
・ 26	鑄鉄製温水発生機				○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MP a	10分	
・ 27	温水発生機に組込む熱交換器				○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MP aを加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 28	冷 凍 機				○	水圧試験	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水系路
・ 29	遠 心 冷 凍 機				○	気密試験	真空95k P aとし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50P a以下		運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・ 30	吸収冷凍機直置き吸収冷温水機小形直置き吸収冷温水機ユニット				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MP a	10分	
・ 32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍 (ただし、最小0.5MP a)		
・ 33	貯 湯 タ ン ク 熱 交 換 器 ヘ ッ ダ ー				据 付 完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 Pa=P×σn/σa Pa：補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P：補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σn：試験時の温度における材料の許容引張応力 σa：使用温度における材料の許容引張応力		
・ 34	密閉形隔膜式膨張タンク				据 付 完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上		
・ 35	地下オイルタンク				据 付 完了後	水圧試験	70k P a 以上	10分	

2. 浄化槽設備

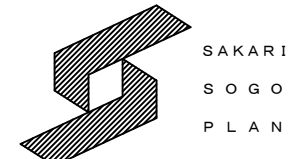
項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後				
・ 1	槽 類				工 事 完了後	満水試験	満水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。	24時間	
・ 2	汚水管及び汚泥管	○		○		満水試験		30分	
・ 3	ポン プ 吐 出 管			○	○	水圧試験	最小圧力0.75MP a	60分	
・ 4	消 泡 管	○		○	○	通水試験			
・ 5	空 気 管	○	○	○	○	気密試験	最高使用圧力の1.1倍	60分	

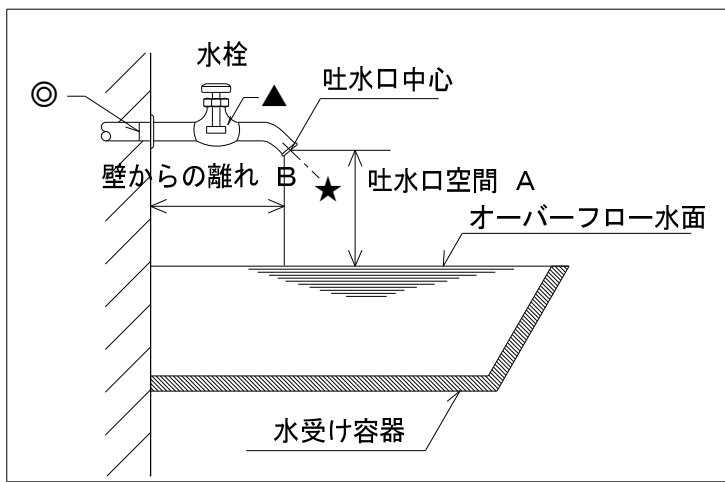
3. ガス設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後				
・ 1	都 市 ガ ス	○	○	○	○	気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社 規 程	ガス事業法に定める技術基準及びガス供給事業者の供給約款
・ 2	液 化 石 油 ガ ス	○	○	○	○	気密試験	不燃性ガス又は不活性ガスを使用し、高圧側1.56MP a、低圧側8.4k P a以上10.0k P a以下	供給管等の内容積	
								10L以下	5分
								10L～50L	10分
								50L超過	24分
						点火試験	気密試験終了後、管内の空気をガスと入れ替え、指定の圧力に調整された調整器を取付て行う。		

※水圧・気密・空気圧試験等は、試験中の圧力状態が分かるようにチャート紙に記録することが望ましい。
※本一覧表に記載無き項目は、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」による。

各工事の区分表																			
工 事 項 目		建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備 考		工 事 項 目		建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	別途	備 考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ		○	○	○	○	○		各工事に必要なスリーブは各々の工事とする（予備は建築工事）		雨水排水側溝設置工事								○	
同上貫通の開口補強		○								同上排水管接続		○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修		○	○	○	○	○				4階会長室製作洗面器		○							
工場製作間仕切及び同左の天井、床、各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強										同上据付工事		○							
天井付各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強・補修		※	○	○	○			※下地補強のみ建築		同上への配線及び配管接続			○	○					
設備関係諸室のシンダーコンクリート		○																	
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎		○								井戸設備工事（ポンプ、ろ過機）				○					
同上 仕上（防水）		○								井戸から受水槽までの一次側配管				○					
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ、埋込み			○	○	○					井水受水槽からの二次側配管				○					
自動ドア・防火扉（シャッター含む）		○	※					※煙感からの信号、1次配線											
合所用のジョイントファン及び浴室天井扇及び取付調整					○			ユニットバス除く											
同上ダクト接続					○														
同上電源用配管、配線及び接続			○																
ユニットバス（シャワー含む以下同じ）量出し及び据付工事		○																	
浴槽及び据付		○						浴槽パン共建築工事											
ユニットバス内シャワー＝水柱及び取付		○																	
同上廻りシ＝リング打ち		○																	
同上への配線及び配管接続			○	○				※1次側のみ											
キッチンキャビネット及び据付工事		○																	
同上への配管接続				○															
吊戸棚、水切機及び取付（バックガード共）		○																	
同上への照明用電源配線及び接続			○																
洗面台及び据付				○															
洗面台カウンター表面板仕上（製作物のみ）		○																	
同上配管接続				○															
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続			○																
化粧鏡		○																	
屋外足洗い（地流し）		○																	
同上への配管接続				○															
洗濯パン				○															
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付				○	○														
ダクト用ベントキャップ及び取付					○														
床、壁、天井点検口（下地補強共）		○						設備盤用扉は各設備工事											
換気扇及び取付枠への取付、配線			※		○			※配線は電気											
換気扇取付枠及び躯体への取付					○														
床暖房工事		※1	※2					※1仕上りは建築 ※2電気又は空調は電気式・温水式区分による											
非常用照明及び誘導灯			○																
消火器			○																
同上表示及び収納箱		○																	
各種配管、ダクトの雨掛り躯体貫通部のシリング打ち			○	○	○														
エレベーター＝各階出入口躯体穴開け・吊りフック		○																	
エレベーター＝出入口三方枠・扉上部幕板							○												
三方枠廻りのメロ詰め						○													
エレベーター＝機械室床、穴開け復旧工事		○																	
資材搬入口の仮設並びに復旧工事		○																	
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事		○																	
壁樋・ドレン・受け樋		○																	
壁樋から第一樹までの接続		○																	
同上第一樹以降の排水設備（樹・側溝等）							○												
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ		※1	○	○				※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）											
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事			○																
屋上点検口、各種タラップ工事		○	※	※	※			※図面特記により電気、衛生又は空調											
ゴミ集積所工事（屋外）			※				○	※照明器具の設置及び配線											
自転車置場（屋外）							○												
同上照明器具及び接続			○																
プロパンボンベ庫		○	※	※															
同上配管工事				○															
便所の目皿・手摺り		○						便器一体の手摺り除く											
便所のペーパーホルダー				○															
手洗い乾燥機				○															
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体		※		○				※特殊基礎は建築工事											
屋外駐車場、歩道工事							○												

	株式会社 盛総合設計	代表取締役社長 栗原 將 光 宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011 TEL（代表）022-222-6887 FAX022-224-2397 事務所登録 宮城県 第23210188号	訂正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							</
---	------------	---	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----



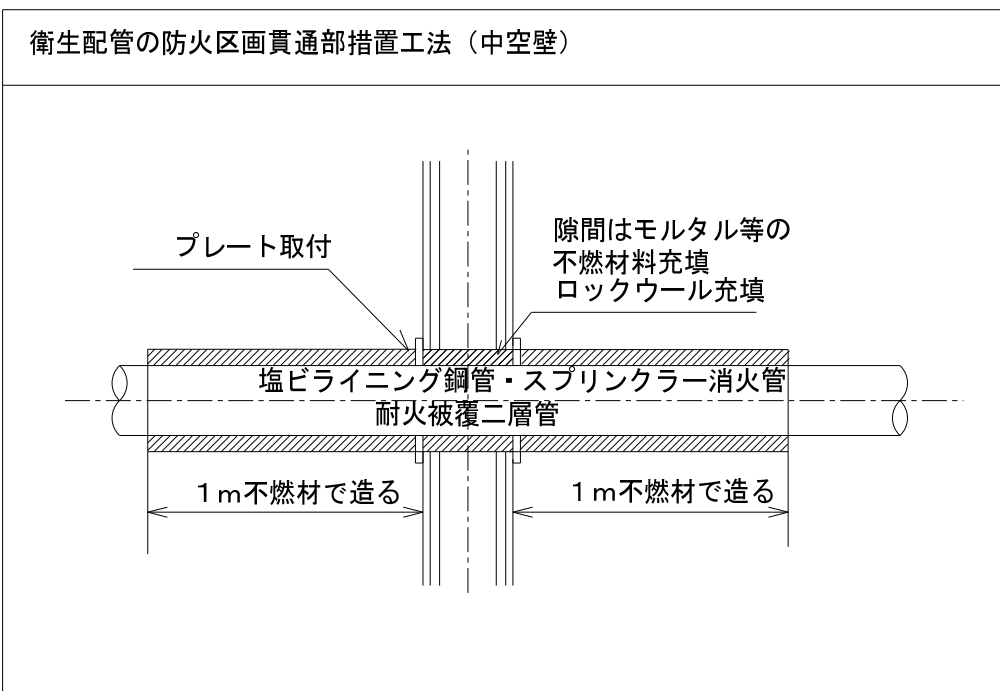
吐水口空間

呼び径	近接壁からの吐水口の中心 までの水平距離 B	オーバーフロー水面から吐水口の中心 までの垂直距離 A
13以下	25mm以上	25mm以上
13を超え20以下	40mm以上	40mm以上
20を超え25以下	50mm以上	50mm以上

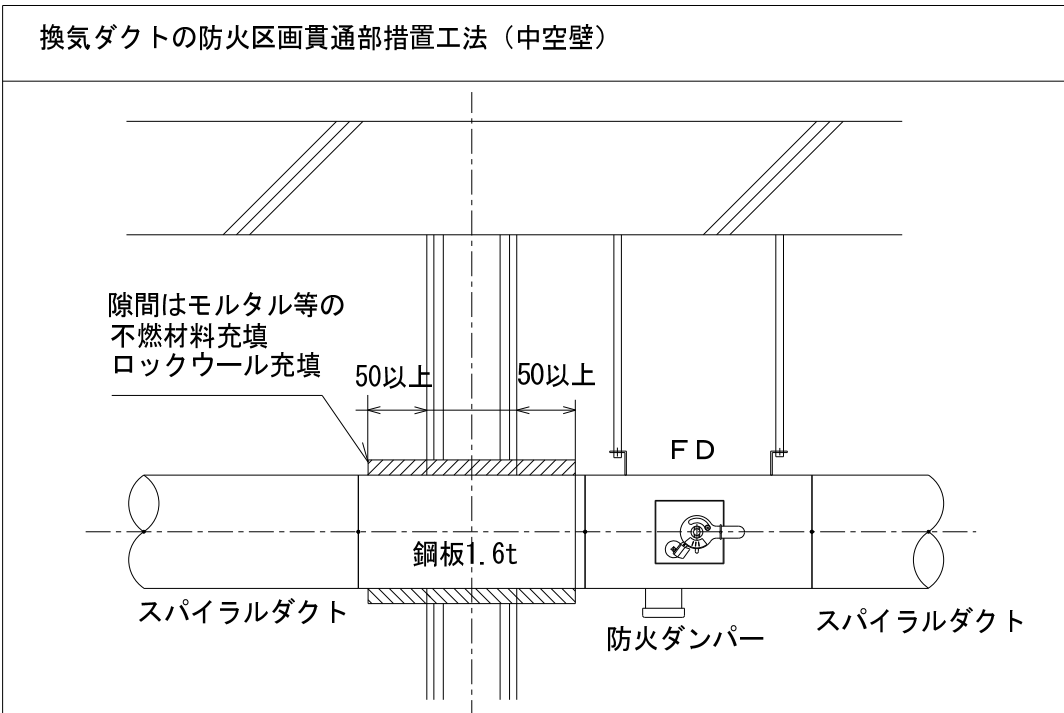
備考1) 浴槽に給水する場合、オーバーフロー水面から吐水口の中心までの垂直距離は50mm未満であってはならない。

備考2) プール等水面が特に波立ちやすい水槽、ならびに事業活動に伴い洗剤または薬品を使う水槽、及び容器に給水する場合、オーバーフロー水面から吐水口の中心までの垂直距離は200mm未満であってはならない。

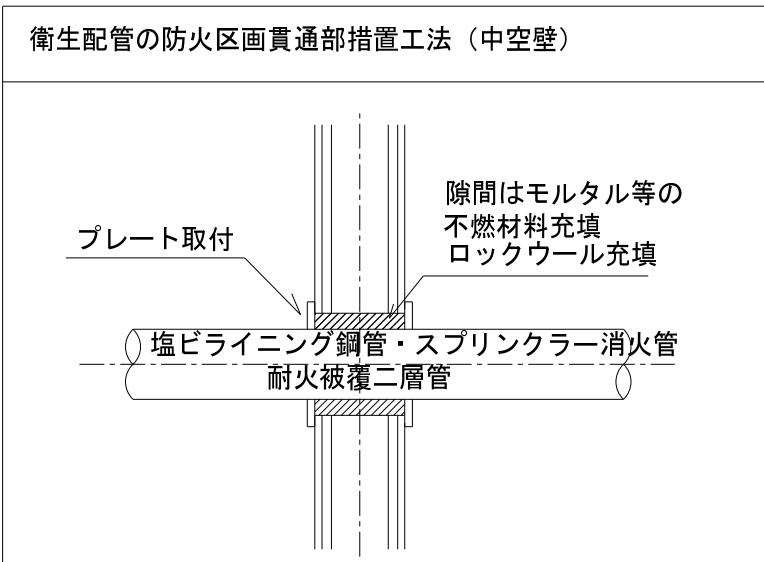
防火区画 衛生配管貫通部平面詳細図 (参 考)



防火区画ダクト貫通部断面詳細図 (参考)



防火区画 衛生配管貫通部平面詳細図 (参 考)

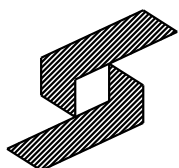


冷媒配管の防火区画，防火上主要な間仕切壁の貫通処理施工

国土交通大臣認定番号 PS060WL-0774-1 中空壁 ● 印 ※A

凡 例 表 (1)

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
	冷 却 水 管 (送り)	※ 管種、保温の仕様は「凡例表 (2)」参照		ストレーナー	
	冷 却 水 管 (返り)	"		フレキシブル継手 (給水他)	SUS304 ベローズ型
	蒸 気 管 (送り)	"		フレキシブル継手 (給湯)	球形ゴム製 (耐熱型)
	蒸 気 管 (返り)	"		ベローズ型伸縮継手	Sー単式 ・ Wー複式
	電 解 水 管	"		地中埋設標	鉄製・コンクリート製
	チ ラ ー 水 管 (屋内)	"		水 栓	
	チ ラ ー 水 管 (屋外)	"		湯 栓	
	冷 媒 管 (液・気化共)	"		混 合 栓	
	ド レ ン 管	"		洗 浄 弁	
	給 水 管 (井水)	"		自 動 感 知 弁	
	給 水 管 (市水)	"		ボールタップ	複式 (20Aは半複式)
	給 湯 管	"		シャワーセット	
	給 湯 管 (返り)	"		床上掃除口	C0Aー防水無 ・ C0Aー防水有
	給 湯 管 (送り)	"		床排水金物	T3Aー防水無 ・ T3Bー防水有
	排 水 管	"		排水金物	Dー排水目皿 ・ T14ー流し排水金物
	排 水 管	"		トラップ樹	
	通 気 管	"		た め 樹	(RCため樹・硬質塩ビ製雨水樹等)
	消 火 管 (屋内消火栓)	"		インパート樹	(RCインパート樹・硬質塩ビ製インパート樹等)
	消 火 管 (連結送水)	"		屋内消火栓箱	易操作性 1号消火栓
	消 火 管 (連結放水)	"		屋内消火栓箱 (放水口共)	
	消火管 (スプリンクラー)	"		連結送水管放水口	放水口格納箱付き
	ガ ス 管	"		連結送水管放水口	放水用器具格納箱付き
	ガ ス 管	"		屋外消火栓 (地上式)	ホース格納箱付き
				屋外消火栓 (組込型)	屋外消火栓箱付き
	埋 設 弁			送 水 口	
	仕 切 弁	JIS 10 kg/cm2 (空調用・排水用 JIS 5 kg/cm2)		放 水 口	
	バタフライ弁	JIS 10kg/cm2		ガスカラン	ヒューズコック付き
	玉 型 弁	JIS 10kg/cm2		量 水 器	
	ボ ー ル 弁	JIS 10kg/cm2		ガスメーター	
	逆 止 弁	JIS 10kg/cm2			
	コ ッ ク			矩形ダクト (外気・送気)	亜鉛鍍鉄板製ダクト
	減 圧 弁 装 置	Aー配管口径・Bー弁の接続口径 バイパス管付き		矩形ダクト (還気・排気)	亜鉛鍍鉄板製ダクト
	電動二方弁装置	Aー配管口径・Bー弁の接続口径 バイパス管付き		円形ダクト (外気・送気)	亜鉛鍍鉄板製スパイラルダクト (0.5mm以上)
	電動三方弁装置	Aー配管口径・Bー弁の接続口径 バイパス管付き		円形ダクト (還気・排気)	亜鉛鍍鉄板製スパイラルダクト (0.5mm以上)
	電 磁 弁 装 置			排煙ダクト (矩形・円形)	亜鉛鍍鉄板製ダクト 亜鉛鍍鉄板製スパイラルダクト
	自動17-抜弁装置	エアア-抜弁 (AV) x1・GVx2・Yストx1		吹 出 口 類 (アルミ製)	アネモ型 (SED付)・VHS・ライン型 (BL-S/D/T) 等
	圧 力 計			吸 込 口 類 (アルミ製)	GH・GHS・HS・GVS等
	水 高 計			風量調節ダンパー	
	連 成 計			防火ダンパー	HFDー高温型 (温度ヒューズ 2800C)
	温 度 計			防火ダンパー (風量調節型)	
				防煙ダンパー	
				防煙防火ダンパー	
				排煙ダンパー	
				ピストンダンパー	
				モーターダンパー	
				逆流防止ダンパー	
				防風板付丸型 V C	(防風板付丸型 V C・深型 F-D・平型 ベントキャップ 等)
				たわみ継手	
				パッケージ型消火栓	



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行

--	--	--

川尾地区複合型園芸施設整備事業 井戸工事

機械設備 凡例表

一級建築士登録
第101316号

栗原憲昭

設計者	一級建築士登録 第289308号
-----	---------------------

伏見 勇男

M-07

連番

縮尺	A1N/3
----	-------

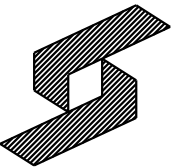
凡 例 表 (2)

記 号	名 称	用 途	管 材	保 温 仕 様
―― ―――	給 水 管 (井 水)	屋 外 露 出	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	ポリスチレンフォーム保温筒 + S U Sラッキング
		屋 外 土 中	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	保温なし
		屋 外 土 中	水道用ポリエチレン管 P P	保温なし
		屋 内 一 般 (便所)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	ポリスチレンフォーム保温筒
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	ポリスチレンフォーム保温筒
		加 工 室 (一般)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	ポリスチレンフォーム保温筒 ※+ 5℃帯の露出配管は保温なし
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	ポリスチレンフォーム保温筒
―― ● C ―――	チ ラ ー 水 管 (屋外)	屋 外 露 出	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 + S U Sラッキング
		屋 外 土 中	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 + ペトララタム保温工事
―― C ―――	チ ラ ー 水 管 (屋内)	屋 内 一 般	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事
		加 工 室 (一般)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 ※+ 5℃帯の露出配管は保温なし
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事 (天井内仕様)
―― E ―――	電 解 水 管	屋 内 一 般	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事
		加 工 室 (一般)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 ※+ 5℃帯の露出配管は保温なし
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事 (天井内仕様)
―― I ―――	給 湯 管	屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材 + S U Sラッキング
		屋 内 一 般	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材
		加 工 室 (一般)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材 (露出仕様)
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材
―― A ―――	圧 縮 空 気 管	屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
―― N 2 ―――	窒 素 ガ ス 管	屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
―― P G ―――	ガ ス 管	屋 外 露 出	密着一層型ポリエチレン被覆鋼管 P L S	保温なし
		屋 外 露 出	硬質塩化ビニル被覆鋼管 P L V	保温なし
		屋 外 土 中	ポリエチレンライニング樹脂管 P E	保温なし
		機 械 室 内	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
―― C ――― ―― VP ―― VP	汚 水 管 排 水 管	暗 渠 内 (便所)	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 内 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
―― V U ―――	屋 外 排 水 管	屋 外 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V U	保温なし
―― V U ―――	雨 水 管	屋 外 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V U	保温なし
―― ―――	通 気 管	暗 渠 内 (便所)	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 外 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
―― S ―――	蒸 気 管 (送り)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (黒) S G P (黒)	グラスウール保温材 ※機械室露出
		屋 内 一 般 (天井内)	配管用炭素鋼鋼管 (黒) S G P (黒)	グラスウール保温材
―― S R ―――	蒸 気 管 (返り)	屋 内 一 般	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし ※加工室内の露出配管はグラスウール保温工事 (屋内露出仕様)
		屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
―― R ―――	冷 媒 管 (液・気化共)	屋 内 一 般	冷媒用断熱材被覆鋼管	保温なし
		屋 外 露 出	冷媒用断熱材被覆鋼管	保温なし + ガルバリウム鋼板ラッキング
―― D ―――	ド レ ン 管	屋 内 一 般	空調ドレン用結露防止硬質塩化ビニル管 D P - V P	保温なし
		屋 内 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 外 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V U	保温なし
―― X ―――	消 火 管 (屋内消火栓)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	グラスウール保温材
―― C D ―――	冷 却 水 管 (送り)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
		屋 外 露 出	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
―― C D R ―――	冷 却 水 管 (返り)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
		屋 外 露 出	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし

参考メーカーリスト ※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。

設備項目	メーカー
1	
空調機器	ホシザキ東北㈱ パナソニック㈱ 三菱重工冷熱㈱ 日本キャリア㈱ ダイキンHVACソリューション東北㈱ 三菱電機住環境システムズ㈱
2	
外調機	パナソニック㈱ 日本キャリア㈱
3	
低温外調機	㈱ヤマケンマシナリー 旭日産業㈱
4	
除湿機・エアファン	ホシザキ東北㈱ パナソニック㈱ 日本キャリア㈱ ダイキンHVACソリューション東北㈱
5	
換気設備	三菱電機住環境システムズ㈱ パナソニック㈱ 日本キャリア㈱
6	
排風機	㈱荏原製作所 テラル㈱ ミツヤ送風機㈱
7	
外部フード	三菱電機住環境システムズ㈱ パナソニック㈱ 日本キャリア㈱
8	
SUS製作物	ホーコス㈱ 空研工業㈱ ㈱亀山鉄工所
9	
陽圧タンパー	㈱ホク総研 ㈱ニトー冷熱製作所
10	
排煙タンパーほか	空研工業㈱ 協立エアテック㈱
11	
排煙機	㈱荏原製作所 テラル㈱ ミツヤ送風機㈱
12	
冷媒管区画貫通	因幡電機産業㈱ 未来工業㈱
13	
衛生器具	㈱LIXIL TOTO㈱
14	
ポンプ類	㈱川本製作所 ㈱荏原製作所 テラル㈱
15	
受水槽・原水タンク	三菱ケミカルインフラテック㈱ 積水アクアシステム㈱
16	
ブロー	東浜商事㈱ 新明和工業㈱ ㈱鶴見製作所
17	
グリストラップ	ホーコス㈱ タクロンシーアイ㈱ 下田エコテック㈱
18	
ACトラップ	ホーコス㈱ コンドールFRP工業㈱
19	
ガス給湯器	㈱ノーリツ リンナイ㈱ パナバス㈱
20	
ガス周り	㈱優輪商会 太陽日酸㈱ ㈱マツモト

設備項目	メーカー
21	
空気タンク類	㈱明治機械製作所 中央オリオン㈱ ㈱優輪商会
22	
空気配管設備フィルター	中央オリオン㈱郡山営業所
23	
ろ過装置設備	三浦工業㈱東京支店 (株)ウォーターサブライ 喜栄工業(株)
24	
浄化槽	東北藤吉工業㈱ ㈱西原ネオ ㈱ダイキアックス
25	
排水処理施設設備	東北藤吉工業㈱ ㈱西原ネオ ㈱ダイキアックス
26	
逆水防止弁	中部美化企業㈱
27	
電気温水器	㈱日本イトミック ㈱LIXIL TOTO㈱
28	
冷媒ガスチャージ費	ホシザキ東北㈱ 日本建設㈱ ㈱日本テクノシステム
29	
煙突	㈱亀山鉄工所 効ハシガリレイ㈱ 三浦工業㈱
30	
自動制御	ジョンソンコントロールズ㈱ アズビル㈱
31	
井戸揚水設備工事	東北ホーリング㈱ 土地地質㈱ ㈱東北地質
32	
観測井戸工事	東北ホーリング㈱ 土地地質㈱ ㈱建設技術センター
33	
除砂器	東北ホーリング㈱
34	
蒸気ヘッダー	㈱亀山鉄工所 効ハシガリレイ㈱ 三浦工業㈱
35	



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行

2025.10

図

部長

次長

審査

担当

管理

設計

図

番

川房地区複合型園芸施設整備事業 井戸工事

機械設備 凡例表(2)・メーカーリスト

一般建築士登録
第101316号

栗原 憲 昭

設計

一般建築士登録
第289308号

伏見 勇 男

図

番

A1N/S

M-08

ピット及び揚水設備断面図 S=Free

ピット及び揚水設備平面図 S=Free

特記仕様

1) 掘削地点

- ・井戸の掘削地点は監督員の承諾を得て決定する事。
- ・掘削地点は後に設置を行う揚水設備、導水設備に影響を与えない範囲にて掘削を行う事。

2) 井戸掘削

- ・掘削工法はロータリー工法とし、採取されるスライム（堀屑）の観察を行い、地質柱状図を作成すること。
- ・掘削完了時には深度検尺を行い監督員の立会を受けること。
- ・設計深度まで掘削が完了した後に電気検層を実施して地質柱状図に記載すること。
- ・地質柱状図にはケーシングプログラムを記載し、スクリーン深度（取水地点）を明記すること。
- ・スクリーンの設置深度に関しては、設置根拠を明示する理由書を提出すること。
- ・掘削にて排出されるスライム及び泥水は産業廃棄物として処分すること。
- ・排出される産業廃棄物は再生資源利用促進計画書にて管理を行い、建築副産物情報共有システム【COBRIS】を利用して発注者と情報共有を行うこと。

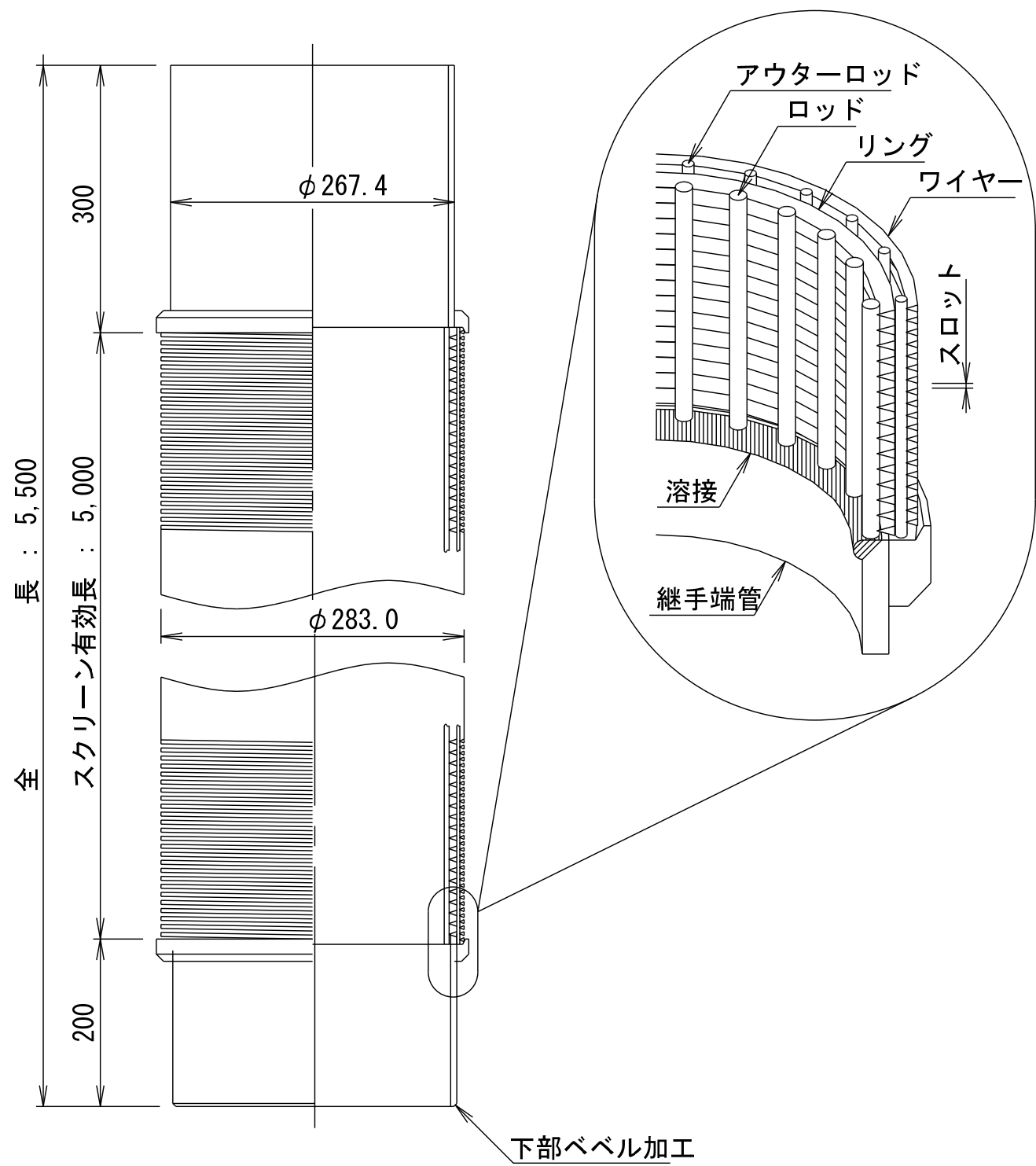
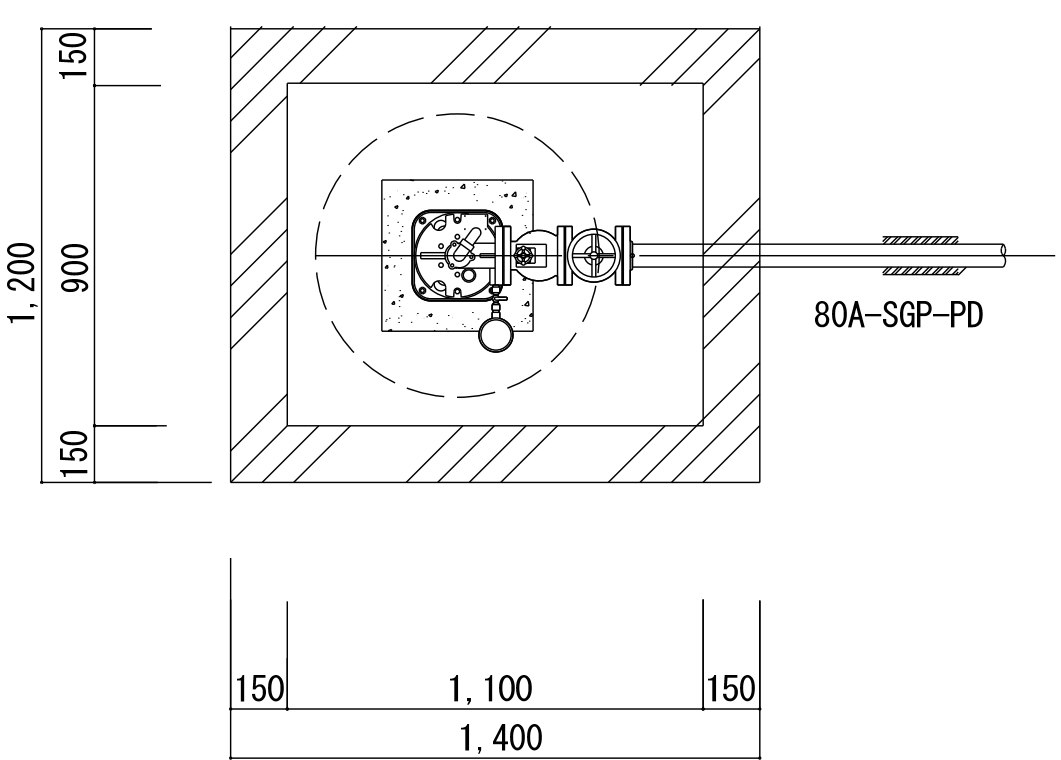
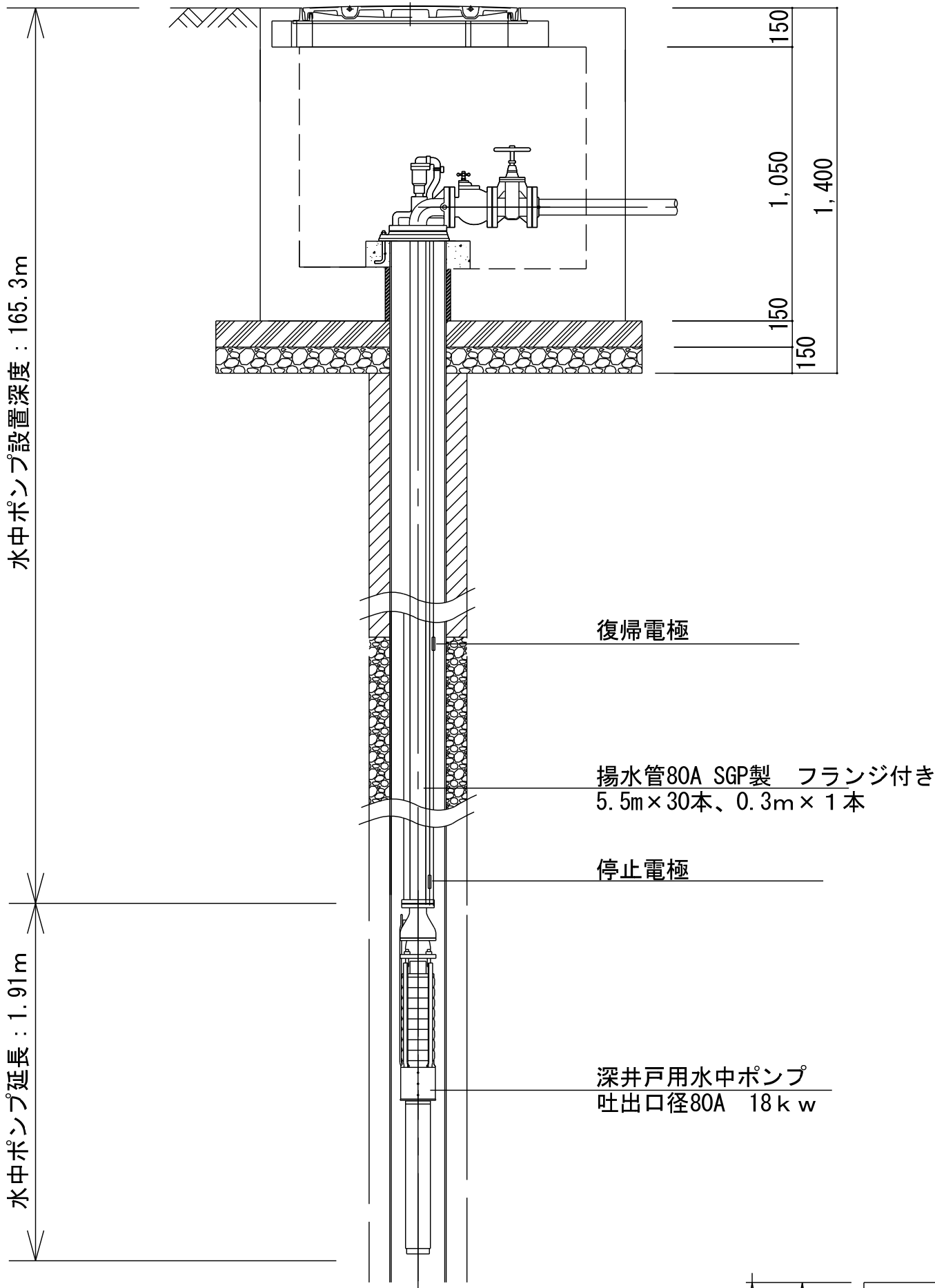
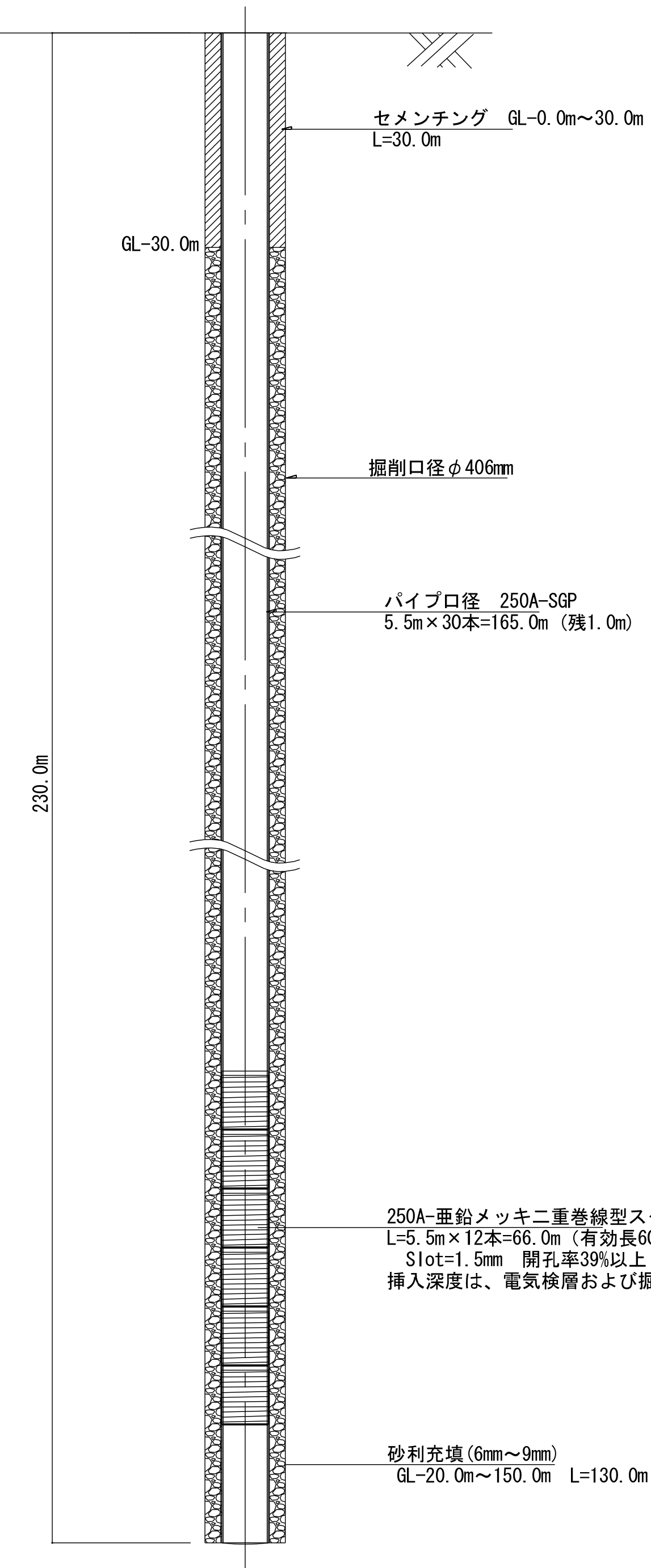
3) 井戸仕上げ・揚水試験

- ・ケーシングパイプ挿入完了後には井戸洗浄を実施して、井戸内に残留している掘削に使用したベントナイト泥水を除去すること。
- ・揚水試験前に予備揚水試験を実施して、段階揚水試験の揚水量を決定すること。
- ・段階揚水試験実施後にはs-q関係図を用いて、適性揚水量の判定を行うこと。
- ・連続揚水試験は適性揚水量にて実施し、揚水時間は72時間の連続試験とする。
- ・連続揚水試験時には水質分析を行い原水水質の分析を行うこと。
- ・揚水試験結果を用いて水利乗数の判定を行うこと。

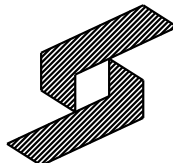
4) 提出書類

- ・完成時には以下の書類を提出すること。
- ・完成図書
工事報告書・工事写真集・出来形管理図・品質管理図・産業廃棄物搬出記録
監督員立会記録・工事打合せ簿・施工計画書・安全教育関係
その他監督員が求める書類

取水井戸施工図 S=Free



250A巻線スクリーン仕様
二重巻線型スクリーン
S=Free



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行 2025.10	図 番	工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業 井戸工事	図 番	M-70
部長 次長 審査 担当	図 面 名	井戸工事 構造図	連 番	
	管理 者	一般建築士登録 第101316号 栗原 憲 昭	設 計 者	一般建築士登録 第289308号 伏見 勇 男
			縮 尺	A1N/S